

茶ぐわ〜ゆんたく

お茶を飲みながら、
ぎのわんの歴史を
のぞいてみませんか？



移り変わる街並み

戦後80年を迎えて⑤

市民の皆さまが手続きや書類の取得などでご来庁される、現在の市役所庁舎が落成したのは1979年12月で、今からちょうど46年前のことになります(落成式典は1980年3月)。

戦前の村役場は字宜野湾、現在の普天間飛行場内にありましたが、沖縄戦を経て、1946年4月4日に市町村制が復活した時期の庁舎は、野高の民家を使用していました。その後、台風で飛ばされた野高西門原のコンセット庁舎

(写真1)を経て、米国資金により、1950年2月に、同じく野高西門原に村役所が建設されました(写真2)。その後、1958年に普天間へ移転し(写真3)、1980年に米海軍通信隊の跡地であった野高の現在地へ移転しました(写真5)。

戦後二代目の庁舎である、普天間にあった建物には、外壁に直接「宜野湾村役所」と書いてあったようです。1962年に宜野湾市に昇格し、「村」から「市」へ変わった際、外壁の文字が「村役所」から「市役所」へ、また、英語表記の位置も変化しています(写真4)。

現在、「宜野湾市新庁舎建設事業」が進められており、市報9月号では「新庁舎基本構想・基本計画策定に係る市民アンケート」についてのお知らせも告知されていました。



▲写真1:コンセット庁舎



▲写真2:野高西門原の村役所



▲写真3:普天間の役所



▲写真4:市昇格時



▲写真5:現在の庁舎(竣工時)

次の市役所庁舎が市民の皆さまにとつてどのような建物となるのか、完成が待たれます。

問 市立博物館 ☎870-9317

はくぶつかん情報 問 市立博物館 ☎870-9317

市民講座「近代沖縄の幕開け」受講生募集!

沖縄の近代について解説します。

- ▶講師 前田 勇樹(琉球大学附属図書館 職員)
- ▶日時 1/18(日) 14:00~16:00(受付13:30~)
- ▶集合場所 市立博物館 2階研究室
- ▶対象 一般
- ▶定員 ①来場参加:40名 ※先着順
②オンライン参加(ZOOM):100名
- ▶参加費 無料
- ▶申込期間 12/28(日) 9:00~
- ※年末年始(12月29日~1月3日)は休館

戦後80年企画展Ⅱ「宜野湾 戦後生活史」開催中!

戦後ゼロから始まった民衆の苦悩の歴史を、
宜野湾の移り変わりと共に紹介します。

- 日時 11/1(土)~1/18(日)
- 休館日 毎週火曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
- 場所 市立博物館1階 企画展示室 観覧料 無料



これはなんの模型だろう?
答えは展示を見に来てね!

